

## 2024 年度専任事務職員（新卒）募集要項

### 1. 応募資格

2024 年 3 月大学卒業見込みの者

### 2. 採用基準

- a 建学の精神を尊重し、創造性豊かでチャレンジ精神を持ち、誠実かつ謙虚に物事に取り組める者
- b 福音主義キリスト教の信者、又はキリスト教に基づく教育に理解を有し、積極的に協力できる者
- c 教育機関が置かれた環境と職員の担うべき役割を理解している者
- d 事務能力及びコミュニケーション能力に優れている者
- e 業務遂行においては、協調性、責任性及び積極性を持ち、困難な事態があっても課題達成のために真摯に努力し、常に向上心を持って業務に取り組める者

### 3. 採用人員

若干名

### 4. 採用日

2024 年 4 月 1 日

### 5. 応募書類

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| a エントリーシート（写真貼付） | 1 通※所定様式は本学院 HP からダウンロード |
| b 卒業見込証明書        | 1 通                      |
| c 成績証明書          | 1 通                      |
| d 健康診断書          | 1 通※最終選考の際に提出            |

### 6. 応募期間

2023 年 5 月 15 日（月）～6 月 19 日（月）郵送必着

### 7. 説明会

2023 年 6 月 5 日（月）12 時 05 分～12 時 50 分

2023 年 6 月 9 日（金）14 時 00 分～14 時 45 分

※宮城学院女子大学の在学生はキャリア支援課にお申込みください

※他校の方は書類提出先の e-mail 宛てに参加希望の旨をご連絡ください

※2 回とも同じ内容です。応募に際しては説明会への参加が必須ではありません

### 8. 選考方法・日程

#### a 選考方法

書類選考、集団面接、事務適性検査、小論文、個人面接等

※書類選考結果は、第 1 次試験日までに合格者に対してのみメールで通知します。

#### b 選考日程

第 1 次試験日 2023 年 6 月 28 日（水）（予定）

場 所 学校法人宮城学院

## 9. 勤務条件

### a 業務内容

法人管理運営業務

(総務、人事、財務、経理、施設・設備管理、物品調達などの事務)

教育研究支援業務

(教育・研究支援、学生支援、キャリア支援、社会連携、入試広報などの事務)

### b 勤務時間

8時50分～17時35分(月～金曜日)

8時50分～12時00分(土曜日勤務の場合)

※年間変形労働時間制を導入しております

※勤務時間は所定時間の範囲で繰上げ、繰下げの措置があります

※学校行事等で日曜出勤があります

### c 勤務場所

学校法人宮城学院キャンパス (仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1)

## 10. 待遇

a 初任給 198,900円

b 諸手当 調整手当、住宅手当、扶養手当、通勤手当、時間外勤務手当など  
(規程に従い支給)

c 賞与 夏季、冬季(年2回)

d 福利厚生 日本私学振興・共済事業団に係る社会保険・年金、雇用保険

e 休日・休暇

◎ 休日 日曜日、国民の祝日、創立記念日、降誕祭、夏季・年末年始、  
その他本学院が定める休業日

◎ 休暇 ・年次有給休暇(初年度20日)  
・特定休暇(夏季、年末年始)  
・土曜休暇  
・特別休暇(法定休暇、忌引休暇、結婚休暇など)

## 11. 応募書類の提出先(応募時の電話・メール連絡は不要。書類は持参不可、郵送必着)

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1

学校法人宮城学院 総務人事課 採用担当 森

電話 022-279-1311 e-mail [somu@mgu.ac.jp](mailto:somu@mgu.ac.jp)

封筒に「専任事務職員(新卒)応募書類在中」と朱書きしてください

※ 提出していただいた書類は返送いたしませんので、必要な書類はコピーをお取りください。

※ 提出書類に記載された個人情報は、採用選考のためのみに利用します。なお、採用が決定された方の個人情報は、引き続き採用後の雇用管理のために利用し、その他の方の個人情報は採用試験終了後、本学院が責任をもって廃棄いたします。

### 宮城学院の建学の精神

『福音主義キリスト教に基づいて学校教育を行い、神を畏れ敬い、自由かつ謙虚に  
真理を探究し、隣人愛に立ってすべての人の人格を尊重し、人類の福祉と世界の  
平和に貢献する女性を育成すること』